

第25回 全国街路事業コンクール

全国街路事業促進協議会会長賞

仙台市 建設局 道路部

北四番丁大衡線 (北山工区) 道路整備事業

都市名	仙台市	事業主体	仙台市
-----	-----	------	-----

事業概要

都市計画道路「北四番丁大衡線」は、仙台市と宮城県北部に位置する大衡村を結ぶ延長23.8kmの路線で、仙台圏の交通体系の骨格を形成する南北の幹線道路である。今回、北山工区の完成により、仙台市の整備対象延長10.2kmが全線開通した。

仙台市中心部と市北部の泉区方面を結ぶ主要幹線道路が県道仙台東線のみであり、通勤・通学の時間帯などには、北山地区周辺の幅員の狭い道路でも慢性的な渋滞が発生していたが、仙台市北西部と市中心部までのアクセス時間が短縮され、県道仙台東線及び北山地区の交通渋滞の緩和、交通安全の確保、生活環境の向上が図られた。

また、仙台市青葉区木町から山手町までの区間については、仙台藩伊達家ゆかりの輪王寺の江戸時代から続く豊かな自然環境と、東北有数の名園である禅庭園を守るため、「トンネル形式」で整備を行った。このことは、ひいては北山周辺の自然環境並びに指定有形文化財（輪王寺山門）の保全に大きく寄与することになった。

- 事業延長：1,233m
【北山トンネル部：(南行)上り線629m、(北行)下り線843m】
- 幅員：24m～44m
【北山トンネル部：車道部 0.5m(路肩) - 6.5m(2車線) - 0.5m(路肩)】
- 事業費：約125億円 (うち、北山トンネル部：約53億円)
- 事業期間：平成12年度～平成23年度
(うち、北山トンネル部：平成20年8月～平成24年3月)

表彰理由

本事業により、市の整備対象路線が全線開通したことで、都市圏の広域ネットワークが形成され、周辺部における交通渋滞の緩和、交通安全の向上や物流機能の強化を図ったほか、東日本大震災の影響で一時中断を余儀なくされたにも係らず、短い期間で事業を完成させ、災害復旧の輸送路として効果を発揮したことなどが高く評価された。

また、地域の特徴である自然環境や著名な文化財の保全に十分配慮したことも高く評価された。

